

平成25年度 島根県教育センター教育研究発表会のご案内

うらかな春から初夏の気配も感じるこの頃、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、当島根県教育センターでは、下記のとおり教育研究発表会を開催することにいたしました。多くの教職員の皆様にご参加いただき、これらの研究成果を教育実践の参考にさせていただくとともに、私たちの研究等についてご意見とご感想を賜ることができれば幸いに存じます。
特に本年度は、当センターの研究だけでなく、島根県教育研究会主催「平成24年度（第44回）教育論文並びに教育実践記録の募集」の【教育実践記録】で優秀賞を受賞した、鹿島ふれあい学園図書館部の共同研究の発表もあります。講演はユニバーサルデザインの授業づくりに詳しい青山学院大学 坪田耕三 先生にお願いしました。体験コーナーや浜田教育センター研究発表の時間も設けており、例年以上に充実した内容となっております。
何かとご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご来場くださいますようご案内申し上げます。

島根県教育センター 所長 長岡 素巳

記

1 期 日 平成25年5月18日（土） 9:00～16:05

2 会 場 島根県教育センター 2階 講堂ほか

3 日 程

(1) 受 付 8:40～ 9:00

(2) 開 会 式 9:00～ 9:10

(3) 研究発表 9:10～11:30

発表順	発表時間	研 究 主 題	発 表 者	内 容
1	9:10 ～ 9:30	聞くことにつまずきのある子どもの理解 ～“聞く”に視点を当てたアセスメントの一案～	平成24年度島根県教育センター 特別支援教育研修生 松江清心養護学校 教諭 土井 史	“聞くこと”につまずきに、担任が気づくことができるようなアセスメントはどのようなものが適切なのか。小学校と協力して、『聞くことシート』『聞くことガイド』の活用の実践を行った。担任が子どもたちのつまずきへの理解を深めていく過程から、気づきにつながるアセスメントの条件について考察した。
2	9:30 ～ 9:50	科学的な思考力を育む学習過程の工夫 ～活用を取り入れた小学校3年「電気」の学習を通して～	平成23年度島根県教育センター 長期研修員 松江市立内中原小学校 教諭 寺本 志穂	習得場面で活用を取り入れた学習過程の工夫のあり方について、授業実践を通して検討した。その結果、習得場面に活用を取り入れることは、科学的な思考力の中でも特に概念同士をつなげたり関係付けたりする力を育むことにつながり、コンセプトマップによるマッピングは児童自身が思考の整理やつながりを明らかにすることに有効であることが明らかになった。
3	9:50 ～ 10:10	学習に向かう力を育てる体づくり ～県内の実践に学ぶ part2～	前 教育相談スタッフ (特別支援教育セクション) 指導主事 松江市立古志原小学校 教諭 吉野 晃子	個の教育的ニーズを体という観点から考えた平成20～22年度の特別支援教育セクションの共同研究、平成23年度の個人研究の継続発展研究である。昨年度課題として残した「幼(保)小連携」への指針の提供と、小学校の取組に対する新たな情報の提供、そしてその2つを総括した「考え方の再整理」の3つの目的に向かう。
4	10:20 ～ 10:50	【島根県教育研究会 教育実践記録 優秀賞】 国語科(図書館活動) 「～読書ビンゴ～かしまっ子の本」で つながる学校と子どもたち ～図書館活用教材の開発と実践～	鹿島ふれあい学園 図書館部共同研究 代表 松江市立鹿島中学校 教諭 寺本 学	これは、小中学校の教職員が相互に理解・連携しながら、児童・生徒の読書への興味関心を高め、読書生活を向上させようと試みた実践記録である。そのために「めざす15歳像」を定め、9年間活用でき一貫性のある読書共通教材「読書ビンゴ かしまっ子の本」を開発し、国語科と図書館司書が中心となって、その活用法を工夫し、行った実践である。
5	10:50 ～ 11:30	平成24年度共同研究の概要紹介		
		①特別支援学級の指導の充実に向けて（2年次） ～実態調査と授業実践の提案～	教育相談スタッフ特別支援教育セクション 指導主事 大森加代子	
		②授業改善に向けた教育センターの支援の在り方（1年次） ～経験年数に応じた授業力に係る研修を通して～	企画・研修スタッフ 指導主事 山崎 誠	
		③「学級集団づくりへの取組」（1年次） ～学級集団づくりの魅力ガイドブック（仮称）の作成に向けて～	教育相談スタッフ相談セクション 指導主事 成相 和広	
		④「教育の情報化」推進のための取組（1年次） ～ICT校内研修バックの作成～	研究・情報スタッフ 指導主事 島崎 健志	

(4) 体験コーナー 11:35～12:15

会 場	タ イ ト ル	担 当	内 容
本館2階 2-4 研修室	「体づくり」体験コーナー	教育相談スタッフ	「学習に向かうために必要な体の力」を育てるための動きを具体的に紹介したり、実際に体験したりしてもらいます。(①11:35～と②11:55～の2回実施予定)
本館2階 2-3 研修室	自閉症・情緒障がい特別支援学級の授業 実践例紹介	教育相談スタッフ	平成24年度に特別支援教育セクションの指導主事が小学校自閉症・情緒障がい特別支援学級で行なった算数の授業について、概要を展示で紹介いたします。
本館2階 研修準備室	使ってみよう！ 「授業力自己診断シート」	企画・研修スタッフ	平成24年度の研究から「授業力に関する自己診断シート」にポイントを絞って扱います。自己診断シートに関する説明を聞いていただき、実際に「自己診断シート」に記入することで、本研究の内容の理解を深めてもらいます。(①11:35～と②11:55～の2回実施予定)
研究情報棟 第2 PC室	「ICT校内研修バック（プロトタイプ）」 を体験してみよう	研究・情報スタッフ	「ICT校内研修バック（プロトタイプ）」を実際に体験してみましょう。「ICT活用の意義」「機器の接続について」「実物投影機とプロジェクタ」の3種類の研修バックを準備しています。ぜひ体験してみてください。

(5) 研究発表 13:00～14:00

発表順	発表時間	研 究 主 題	発 表 者	内 容
6	13:00 ～ 13:30	「言語活動の充実」に関する一研究 (2年次) ～3つの視点からのアプローチ～	浜田教育センター 研究・研修スタッフ 指導主事 金山 悟	昨年度の研究考察をもとに、概論、授業づくり、体制づくりの3点について明確にし、3つの視点諸課題を解決するための方策をまとめ、冊子『言語活動の充実Q&A』を作成した。
7	13:30 ～ 14:00	幼保小の望ましい連携のあり方を 探る（2年次）	浜田教育センター 教育相談スタッフ 指導主事 小寺 博喜	現在充実が求められている幼保小の連携の在り方について、保護者、幼稚園・保育所等、小学校の職員、小学校児童の意識調査や観察をし、要因を整理・分析し、幼保小の望ましい連携の在り方について提案を行う。

(6) 講 演 14:15～15:55

《詳細は、別紙をご覧ください。》

演題 「ユニバーサルデザインを意識した教科教育を考えるー子どもの意欲に培う授業ー」

講師 青山学院大学教育人間科学部 教授 坪田 耕三 氏

(7) 閉 会 式 15:55～16:05

4 展 示 9:00～16:30 (研究情報棟)

《詳細は、別紙をご覧ください。》

2013 ICT体験・展示会 ～授業に役立つICT機器やデジタルコンテンツを体験してみませんか～

5 その他

(1) 参加申し込み、参加費等は必要ありません。(資料は当日準備いたします)

(2) 昼食を注文することができます。(昼食受付8:40～10:00)

(3) センター入り口正面の第2駐車場もご利用いただけます。本館駐車場と併せて約150台が駐車可能です。大型車は第2駐車場にお入れください。

(4) 本発表会の参加をもって、初任者研修の校外自主研修及び教職経験11年目研修の校外における研修（選択研修：その他）とすることが可能です。

問い合わせ先：

〒690-0873 松江市内中原町255-1 島根県教育センター研究・情報スタッフ 瀬崎邦博 TEL(0852)22-5872 E-mailアドレス：sezaki-kunihiro@pref.shimane.lg.jp